



2023年度環境経営レポート

(対象期間: 2023年6月～2024年5月)



作成日：2019年1月19日
更新日：2024年8月19日

□ごあいさつ

私たち北川電機商会は、電気を安心して安全に使っていただくことを基本に、電気の総合アドバイザーとして、安全・納期・コストを重視し、電気工事だけでなく、空調工事・情報通信工事・電気機器の販売など通じて、新しい価値を提案し実現することによって、地域社会に貢献していきたいと考えております。

また、2011年3月の東日本大震災と原発事故によって、環境やエネルギーに関する意識が高まっており、今後、地域循環型経済をどのように作っていくかが重要になります。その中で、電気だけでなくエネルギー全体の事を考えなければならない点においても、弊社の果たすべき役割は高まるものと考えております。

今後も技術の革新や時代の変化を捉え、すべてのステークホルダーの期待にお答えし、信頼していただけるように努力を続けてまいります。そして、継続的な企業価値の向上を目指し、事業を推進していきます。

株式会社北川電機商会
代表取締役 北川 智之

株式会社北川電機商会 環境経営方針

<環境経営理念>

循環型社会の実現に向けて、自らの事業活動における環境負荷の低減はもとより、電気の総合アドバイザーとして、省資源化・省エネルギー製品の提案をすることで社会環境の維持・改善に貢献する。

<行動計画>

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ①電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②資材の省資源化、廃棄物の3R（減量・再利用・再生利用）の推進
- ③水資源の節水
- ④有害物質の低減
- ⑤事務用品のグリーン購入
- ⑥コピー用紙の低減
- ⑦環境に配慮した工事の推進

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. 全従業員に周知する。

【2019年 1月 19日 制定】

【2020年 11月 9日 改定】

(署名)

株式会社北川電機商会
代表取締役 北川智之

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社北川電機商会
代表取締役 北川 智之
- (2) 所在地
本 社 富山県南砺市やかた61番地
砺波営業所 富山県砺波市豊町1丁目17-8ホリタビル2F
倉庫 富山県南砺市下古江732番地
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 専務取締役 北川佳弘 TEL : 0763-22-2201
- (4) 事業内容
電気工事業、電気機器販売業
- (5) 事業の規模

売上高	58040 万円				
	本社	砺波営業所	倉庫		合計
従業員（役員含む）	20	3名	無人		22名
延べ床面積	995.86㎡	121.5㎡	1933㎡		3050.36㎡

- (6) 事業年度 6月～5月

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社北川電機商会
 関連事業所： 本社
 砺波営業所
 倉庫
 対象外：
 活動： 電気工事業、電気機器販売業

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2018年 (基準年度)	レポート 対象年度	レポート 対象前年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	73637	52432	50939
二酸化炭素排出係数		0.497	0.499	0.499
廃棄物排出量	トン			
一般廃棄物量排出量	袋	443	398	352
産業廃棄物排出量	トン	17	31	30
総排水量	m ³	209	222	244

※化学物質の使用はありません

```

graph TD
    A["代表者  
北川 智之"] --> B["環境管理  
責任者  
北川 佳弘"]
    B --> C["環境事務局  
総務課"]
    B --> D["EA21  
推進委員会"]
    D --> E["事務部門"]
    D --> F["工事部  
部門長"]
    D --> G["販売営業部  
部門長"]
    D --> H["砺波営業所  
所長"]
  
```

（本社）

代表者
北川 智之

環境管理
責任者
北川 佳弘

環境事務局
総務課

EA21
推進委員会

事務部門

工事部
部門長

販売営業部
部門長

砺波営業所
所長

	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理、 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告・ ・環境活動レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□環境目標及びその実績

項 目		2018年	2023 年 上段：通年		2024 年	2025 年
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年度比	20,313	18,688 92%	15,849	18,485 91%	18,282 90%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年度比	49,119	42,734 87%	35,597	42,242 86%	41,751 85%
燃料使用量の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2 基準年度比	4,205	3,658 87%	986	3,616 86%	3,574 85%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	73,637	65,080	52,432	64,343	63,607
コピー用紙の削減	枚 基準年度比	36,200	31,856 88%	38,700	31,494 87%	31,132 86%
一般廃棄物の削減	袋 基準年度比	443	390 88%	398	385 87%	381 86%
産業廃棄物の削減	m³ 基準年度比	17	15 90%	31	15 90%	15 90%
水道水の削減	m³ 基準年度比	209	188 90%	222	188 90%	188 90%
事務用品のグリーン購入	% 基準年度比	52	62 120%	56	63 121%	63 122%
工事成績評価点	点 基準年度比	78	80 102%	80	80 103%	80 103%

電力購入先：北陸電力㈱

排出係数： 0.499 kg-CO2/kWh 2023年度
排出係数： 0.518 kg-CO2/kWh 2018年度

□環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○まあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
電力の削減		
・昼休み、残業時など不必要な時は消灯する	○	電灯は達成しているが、動力は今一つ。季節の気温にもよるが、過剰な使用は控えて目標達成したい。
・倉庫やトイレなど使用頻度の低い場所は使用時のみ点灯	○	
・パソコン、コピー機は省電力設定にしておく	○	
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	
・使用してない部屋の空調を停止する	△	
・ウォームビズ、クールビズの実施	◎	
自動車燃料の削減		
・効率的なルートで配送	○	共同配送や乗り合わせを継続し、引き続き目標達成に向けて取り組んでいく。
・エリア別営業活動の見直し	○	
・アイドリングストップ	○	
・急加速・急停車の防止	△	
・冷房の控え目使用	△	
・燃費のよい車の購入（更新時）	◎	
燃料使用量の削減		
・使用してない部屋のヒーターを停止する	○	暖冬やストーブ使用の回数が減り目標達成となった。
・ウォームビズ、クールビズの実施	◎	
コピー用紙の削減		
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	ペーパーレス化により使用量は削減できている。引き続き取り組みを進めていく。
・電子化によるペーパーレス化	○	
・両面コピーの活用	○	
一般廃棄物の削減		
・分別の徹底	○	紙の分別処理を継続していく。
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	
産業廃棄物の削減		
・素材別ボックスの設置	○	目標は不達だった。分別は継続してできているので引き続き取り組みを継続していく。
・リサイクル業者の開拓	○	
・作業ミスによる廃棄量の削減	△	
水道水の削減		
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	△	水道水を使用する機会が少ない方だが、水洗の閉め忘れがたまにあった。節水シールの貼り付けを継続していく。
・自動水栓取り付け	○	
事務用品のグリーン購入		
・グリーン購入対象品目調査	○	グリーン購入品が市場に増えたこともあり、目標達成となった。
・グリーン購入比率調査	○	
環境に配慮した工事の実施		
・施工方法や作業方法の見直し	○	LED化の提案を進めてきた。引き続き環境に配慮した提案を行っていく。
・仮設材料を工夫し、安全を重視しつつ再利用	△	
・建設機械のアイドリングストップ	△	
・廃棄物発生の抑制	△	
・施工時、作業時における資材ロスの低減	△	
・環境配慮型製品の提案	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属 [※] 、廃プラ等）
建設リサイクル法	建設発生土
家電リサイクル法	テレビ・エアコン・冷蔵庫等
小型家電リサイクル法	パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等
P C B特措法	P C B 廃棄物
水銀廃棄物ガイドライン	廃蛍光灯・H I Dランプ
オゾン層保護法	空調設備・消火設備等
フロン排出抑制法	業務用冷凍空調機器
省エネ法	貨物運送量3,000万トン以上
作業所で同意するその他の要求事項	近隣協定等

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟、苦情等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

22.【代表者に寄る全体の評価見直し】							
代表者による評価・見直しの記録						検 印	作 成
見直し実施者	代表取締役 北川智之						
見直し実施日	令和6年6月8日						
確 認 ・ 評 価 し た 資 料							
文 書	確 認	記 録				確 認	
環境方針	✓	環境への負荷の自己チェック				✓	
環境目標	✓	環境への取組の自己チェック				✓	
環境活動計画	✓	環境関連法規制等の順守状況確認				✓	
環境関連法規等のまとめ	✓	外部からの苦情・情報の記録				✓	
実施体制	✓	環境上の緊急事態の訓練記録				✓	
緊急事態対応手順	✓	環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況と結果				✓	
環境活動レポート	✓	不適合是正・予防処置報告書				✓	
取組状況全体の評価							
システムが有効に運用されているか(要求事項を満足しているか)						適	不適
取組が適切に行われているか						適	不適
見直しの必要性							
環境方針	あり	なし	実施体制	あり	なし		
環境目標	あり	なし	その他	あり	なし		
環境活動計画	あり	なし					
見直し具体的内容							
環境マネジメントシステムを導入して5年となった。							
ハード面の強化は行われているが、ソフト面での対応が遅れている。							
今年度は社内リフォームを予定している。							
働きやすい環境と地球環境をリンクさせ、更なる推進を行ってほしい。							
水使用量削減の目標を、2024年度より維持目標とする。							

□環境活動の紹介

□社内LED化



□スイッチの自動化



□節電の掲示



□太陽光パネルの設置



□電気自動車の導入



□太陽光パネルの増設(R5)

